

令和5年度事業報告書

令和5年台風7号により県内で過去最大級の災害が発生し、県との災害協定に基づき、災害復旧に向けて全会員で対応した。

令和6年能登半島地震災害について、義援金・支援金を寄付するとともに、石川県測協からの協力依頼に対し14社による災害復旧業務への協力体制を整えた。今後、要請に応じて活動していく。

令和5年度は、このような中で、事業計画に基づき、「技術力の向上」「経営基盤の充実」「業界の将来に向けて」の実現に向け、年間を通して積極的に活動を行った。

業界の将来に向けて、第12回目となる「郷土づくりシンポジウム」は、「地域を守るインフラDXの取組みを学ぶ」をテーマとして開催し、東・中・西部の高校で高校生にわかりやすい出前講座を併せて実施した。協会初めての試みとして「鳥取大学での出前講座」を実施し、大学生の建設コンサルタント業への理解を深めることができた。“シンポジウム”、“出前講座”のビデオを作成し協会公式YouTubeで配信するなど、「建設コンサルタント業の魅力発信と知名度向上」に取り組んだ。

さらに、将来の担い手に対して協会及び会員各社の魅力を伝えるため、若手社員の参画のもとで、建設コンサルタントの仕事を理解していただくよう「協会パンフレット」を作成した。今後、出前講座や企業説明会等で活用し、高校生等の業界への理解を深め、将来の担い手の確保に努める。

技術力の向上について、県、国、大学と連携しながら、「BIM/CIMをテーマとした技術講演会」を実施し、「鳥取イノベーション実装フィールドにおけるBIM/CIM技術者養成研修」等に参画するなど、BIM/CIM等に関する知識・技術の取得等に取り組んだ。その他各種研修会の開催等、技術力向上に向け、活動を行った。

さらに、「3次元測量設計検討委員会」でBIM/CIM活用案をまとめて「BIM/CIM活用等勉強会」で県へ提案した。県は、当協会の提案を踏まえ、「鳥取県におけるBIM/CIM導入方針・ロードマップ（短期・中長期）」を示され、令和6年度からBIM/CIMの段階的な導入を開始することになった。

デジタル技術を活用した業務の効率化について、県では、当協会の意見・要望を踏まえ、「とっとり建設DXマスタープラン」を策定され、測量設計等業務で「電子契約」を実施し、令和6年度から「とっとり電子申請サービスを利用した契約書類提出」を試行することとしており、県と連携しながら業務の効率化による働き方改革等に取り組み、経営基盤の充実に向け、活動を行った。

I. 技術力の向上

1 技術力の向上と継続的な技術研鑽

(1) 令和5年度郷土づくりシンポジウム

令和5年度は、「地域を守るインフラDXの取組みを学ぶ」をテーマとして、産官学によるインフラDXの取組みを学ぶとともに、東・中・西部の高校で「高校生にわかりやすい出前講座」を併せて実施し、建設コンサルタント業界の果たす役割や大切さ、業界の魅力を発信した。

○日時：令和5年10月25日(水) 13時～17時

○主催：(一社)鳥取県測量設計業協会、国立大学法人鳥取大学

○後援：国土交通省鳥取河川国道事務所、倉吉河川国道事務所、日野川河川事務所
鳥取県、公立鳥取環境大学、鳥取大学振興協力会、中国地質調査業協会鳥取県支部
(一社)日本補償コンサルタント協会中国支部鳥取県部会、鳥取県建設分野担い
手確保・育成連携協議会

○内容

来賓挨拶 国土交通省中国地方整備局鳥取河川国道事務所

所長 貴田 勝太郎 氏

鳥取県県土整備部 部長 小田原 聡 志 氏

【第1部】 「建設コンサルタントの役割と魅力」

「建設コンサルタントの役割と魅力」を高校生にわかりやすく伝えるため、東・中・西部の高校で出前講座を行い、会場でもWEBで出前講座の取組みを紹介した。

東・中・西部の高校での出前講座の概要

| | 東 部 | 中 部 | 西 部 |
|------|--|---|---|
| 実施日 | 10月25日(水) | 9月28日(木) | 10月4日(水) |
| 対象 | 鳥取工業高校(2年生) 18名 | 倉吉農業高校(2年生)5名 人材育成センター 3名 | 米子工業高校(2年生) 11名 |
| 講師 | アサヒコンサルタント(株) | 西谷技術コンサルタント(株) (株)ジーアイシー | シンワ技研コンサルタント(株) |
| 内 容 | ■若手社員からの魅力発信 ・測量業務の仕事内容 ・建築補償業務の仕事内容 ■建築補償業務とは ・CAD操作の説明 ・CAD操作の演習 (建築平面図作成) | ■建設コンサルタントの仕事と役割 ■ドローンの活用事例紹介 ■ドローン実機による飛行演習 ■ミニドローンによる飛行体験 ■積み木で分かる土木 (橋梁の模型実験) | ■私たちの仕事は ・業界の説明 ・卒業生のビデオレター ■体験授業 ・デジタルカメラを用いた3次元測量 ・iPhone/iPad 端末(LiDAR 技術)を用いた三次元測量 |
| 録画編集 | アサヒコンサルタント(株) | 西谷技術コンサルタント(株) | シンワ技研コンサルタント(株) |

【第2部】 「地域を守るインフラDXの取組みを学ぶ」

* 「富山市コンパクトシティ・スマートシティ」現地研修報告

(一社)鳥取県測量設計業協会 総務委員 生西 克徳

* 「鳥取大学におけるインフラDXの取組み」

鳥取大学大学院工学研究科 教授 黒田 保 氏

* 「DX時代におけるMRが切り拓く「橋守」技術者養成」

鳥取大学工学部 准教授 江本 久雄 氏

* 「中国地方整備局でのインフラDXの取組」

国土交通省中国地方整備局企画部
建設情報・施工高度化技術調整官 樋野 義周 氏

* 「とっとり建設DXの推進」

鳥取県県土整備部 部長 小田原 聡志 氏

○参加者 会場；国・県・会員 114名 WEB；国・県・会員45名、倉農

○録画編集 アサヒコンサルタント㈱

○シンポジウム、出前講座PRのビデオを協会公式YouTubeで配信した。

○開催結果をまとめたパンフレットを作成し、関係機関等に広く提供した。

○鳥取県魅力発信事業の対象として実施した。

(2) 令和5年度現地研修

「富山市コンパクトシティ・スマートシティ」の計画・実施状況・実施に向けた課題、富山市や富山県測協におけるインフラ分野のDX（まちづくりDX、建設DX、維持管理DX）の取組みについて学び、研修成果を今後の会員業務に活かしていくため、現地研修を行った。

実施日 令和5年6月8日（木）～9日（金）

研修場所 富山市

参加者 26名

研修内容 6月8日 ○ 富山市コンパクトシティ・スマートシティの概要説明
○ 富山市コンパクトシティ・スマートシティ現地視察
○ 富山県測協との意見交換会
9日 ○ 富山県測協におけるまちづくりDX・建設DXの取組、
まちづくりDX・建設DX等の現地視察

(3) 令和5年度技術講演会

BIM/CIMに関する業界全体の技術力の向上等を目指し、技術講演会を開催した。

日時 令和5年4月25日（火） 13時30分～16時30分

場所 倉吉市 倉吉未来中心 小ホール

参加者 国・県・会員・賛助会員 130名

受講者アンケート結果 理解出来た 85.6%

内容

* 「国土交通省のBIM/CIMの取組について」

講師；国土交通省中国地方整備局企画部 工事品質調整官 中本 嘉実 氏

* 「3次元測量設計（フロントローディング）の試行について」

講師；鳥取県県土整備部技術企画課 係長 岡 秀樹 氏

* 「3次元測量設計検討委員会の活動報告」

講師；(一社)鳥取県測量設計業協会 3次元測量設計検討委員会
委員 川本 篤志

(4) 令和5年度災害復旧実務研修会

日 時 令和5年6月21日(水) 13時30分～16時30分
場 所 倉吉市 (公財)鳥取県建設技術センター 大研修室
講 師 鳥取県県土整備部技術企画課
内 容 災害復旧事業の実務について

災害復旧事業の基本的事項や令和5年度の制度変更点
設計の留意点
事例紹介

参加者 会場 39名、WEB 63名

受講者アンケート結果 今後の業務に活かせる 94,2%

(5) 道路・河川技術研修・勉強会

1) 道路工事関係技術便覧に関する説明会 (WEB)

令和5年3月15日に発行された「道路工事関係技術便覧」(第六版)について、説明会を開催していただいた。

開催日 7月26日(水) Web

参加者 22社 75名

2) 砂防・治山技術指針に関する説明会 (WEB)

令和5年3月に改定された「鳥取県砂防技術指針」、「治山技術指針」について、説明会を開催していただいた。

開催日 7月20日(木) Web

参加者 25社 85名

(6) 第10回土木設計関係技術発表会【WEB】

鳥取県測協代表として、鵬技術コンサルタント(株)が発表した。

日 時 令和5年10月6日(金) 13時～16時

参加者 鳥取 12名

内 容

事例発表①【山口県測協推薦】

令和4年度山口管内附属物点検業務

(株)宇部建設コンサルタント 常務取締役 設計部担当 徳原 裕輝

事例発表②【広島県測協推薦】

令和4年度太田川加計外流量観測業務

中国開発調査(株)本社 測量部 課長補佐

御堂河内 聡

事例発表③【岡山県測協推薦】

令和3年度旭川中上流陸域環境調査他業務

(株)ウエスコ 防災・環境事業部環境計画課 課長 松下 太郎

事例発表④【鳥取県測協推薦】

屋敷谷川通常砂防工事「測量設計及び地質調査業務委託」(国補正)

鵬技術コンサルタント(株) 調査設計部 課長 高松 宏

事例発表⑤【島根県測協推薦】

令和3年度江の川用地測量他その2業務

(株)古川コンサルタント測量部 部長

糸賀 寿男

(7) 鳥取県盛土等に係る斜面の安全確保に関する条例の施行に伴う説明会

令和4年5月1日から施行されている「鳥取県盛土等の斜面の安全確保に関する条例」について、国が、全国一律の基準で盛土を包括的に規制する「宅地造成及び特定盛土等規制法」として令和5年5月に施行することを受け鳥取県盛土条例を改正され、その説明会がオンラインで開催された。

日 時 令和5年4月17日(月)、19日(水)

参加者 12社 29名

2 新しい技術への対応

(1) インフラDX、BIM/CIMに関する研修会等

1) 「鳥取イノベーション実装フィールド」における講習会

① 3次元測量設計技術者養成研修

開催日 令和5年9月26日(火)、27日(水)

場 所 鳥取大学乾燥地研究センター

内 容 * 3次元測量における留意点

・ ICT活用工事における3次元計測

・ 3次元計測技術別の出来形管理(UAV、TLS)

・ UAV・TLS計測のデモンストレーション

* 3次元設計データ作成における留意点

・ 3次元設計データの作成

・ 施工用3次元設計データの活用

参加者 21名

② BIM/CIM技術者養成研修

【道路編】

開催日 令和5年10月12日(木)
場 所 鳥取県建設技術センター
内 容 *BIM/CIM の概要
・R5年度 国土交通省の実施方針
*3次元CAD 基本操作
・地形モデル作成、点群データ読み込み等
*BIM/CIM 対応演習①(義務項目対応例)
・道路計画モデル作成(出来上がり全体イメージの確認)
*BIM/CIM 対応演習②(推奨項目対応例)
・官民モデルと地形モデルの重ね合わせ(重ね合わせによる確認)
*DX 技術体験
・簡易ゴーグルによるVR体験

参加者 12名

【砂防編】

開催日 令和5年10月13日(金)
場 所 鳥取県建設技術センター
内 容 *BIM/CIM の概要
・R5年度 国土交通省の実施方針
*3次元CAD 基本操作
・3次元モデル活用(土量計算)
・地形モデル作成、点群データ読み込み等
*BIM/CIM 対応演習①(義務項目対応例)
・地形モデル作成、堰堤モデル配置(出来上がり全体イメージの確認)
・3案比較(重ね合わせによる確認)
*BIM/CIM 対応演習②(推奨項目対応例)
・土工掘削モデル作成、掘削土量計算(概算数量算出)
・堰堤の施工ステップ作成(施工ステップの確認)
*DX 技術体験
・簡易ゴーグルによるVR体験

参加者 7名

③ ICT 施工技術者養成研修

開催日 令和5年10月19日(木)
場 所 鳥取大学乾燥地研究センター
内 容 *3次元設計データ作成

*フィールド演習

*ICT 出来形管理

参加者 5名

2) 鳥取県 i-Construction 推進連絡会

ICT を活用し建設現場の生産性向上を図り、魅力ある建設産業の実現、良好な社会資本の提供に寄与する i-Construction の推進に向け、官民が一体となって取り組むことを目的として平成29年度にこの会が発足し、当協会も参加している。今年度は、ICT・BIM/CIM の活用現場見学会等が開催された。

① 会議

(第1回)

| | |
|-----|--|
| 開催日 | 令和5年8月1日(火) |
| 場所 | 3事務所、WEB |
| 内容 | ・令和4年度活動報告について ・令和5年度活動計画(案)について ・国土交通省における i-Construction の取組みについて ・鳥取イノベーション実装フィールドにおける取組 ・各機関の取組み紹介 ・意見交換 (ICT, インフラ DX 推進の課題等) 各機関の取組状況について |

(第2回)

| | |
|------|--|
| 書面開催 | 令和6年2月28日(水) |
| 内容 | ・令和5年度活動報告について ・令和6年度活動計画に関する意見・要望等について |

② 鳥取県 i-Construction 推進連絡会現場見学会

○ 「ICT 土工活用工事現場見学会」

| | |
|-----|---|
| 開催日 | 令和5年10月4日(水) |
| 場所 | 大山砂防上野砂防堰堤工事用道路工事現場内 |
| 内容 | ・起工測量、3次元データ作成等のプロセス ・ICT 施工導入のメリット、デメリット ・施工現場見学 |

参加者 1名

○ 「ICT・BIM/CIM 活用現場見学会」

| | |
|-----|---------------|
| 開催日 | 令和5年11月28日(火) |
| 場所 | 山陰道北条道路工事現場内 |
| 内容 | ・ICT 活用地盤改良工事 |

・BIM/CIM活用函渠工事

参加者 10名

○Autodesk「BIM/CIM適用に向けたWebセミナー（無料）」

4月12日 ソリューションによる国土交通省BIM/CIM原則適用への対応（施工編）

4月19日 ソリューションによる国土交通省BIM/CIM原則適用への対応（設計編）

3) 鳥取大学における「建設DX推進リカレント教育」

○BIM/CIM勉強会

開催日 令和6年3月18日（月）19日（火）

場所 鳥取大学 工学部 第25講義室

内容

- ・BIM/CIMの概要と原則適用化
- ・実習（3次元モデルの作成（地形、線形、土工形状、構造物モデル等）、統合モデルの作成（景観、施工シミュレーション等））
- ・最新のICTの動向

参加者 11名

○3次元計測技術に関する実演・実習

開催日 令和6年3月26日（火）

場所 鳥取大学 工学部 第25講義室ほか

内容

- ・3次元計測の概要
- ・3次元計測の活用
- ・3次元計測の実演、実習

参加者 13名

○国土交通省中国地方整備局におけるインフラDXの取組

開催日 令和6年3月27日（水）

開催方法 オンライン

内容

- ・建設産業を取り巻く現状
- ・生産性向上策 i-construction
- ・BIM/CIMの取組
- ・国土交通省中国地方整備局のインフラDX推進計画

参加者 10名

○データサイエンス入門

開催日 ～令和6年3月29日（金）

開催方法 オンデマンド

内容

- ・社会におけるデータ利活用
- ・データ・AI利活用の現場

- ・データ収集のための技術とデータの構造
- ・AI の数理的イメージ
- ・データリテラシー
- ・データ・A I 利活用における留意事項

参加者 10名

4) 鳥取大学におけるインフラ勉強会

鳥取大学主催、鳥取県・当協会共催の勉強会を開催した。

○ 第1回

開催日 令和5年6月23日(金)
 場 所 鳥取大学
 内 容 「iPad を用いた橋梁点検から長寿命化修繕計画まで」
 講 師 JIP テクノサイエンス(株) 今野 将顕氏
 参加者 19名

○ 第2回

開催日 令和5年8月25日(金)
 場 所 鳥取大学
 内 容 「土木コンクリート構造物の品質確保および維持管理に関する事例紹介」
 講 師 山口県土木建築部山口きらら博記念公園交流拠点化推進室 石田 純一氏
 参加者 19名

○ 第3回

開催日 令和5年12月1日(金)
 場 所 鳥取大学
 内 容 「道守」地域の道は誰がいかに守っていくか！
 ～インフラをみんなで守る道守制度(人材育成とICT利活用)～
 講 師 長崎大学名誉教授 松田 浩 氏
 参加者 6名

5) 『DX・i-Conセミナー 2023』

開催日 令和5年4月24日(月)
 場 所 広島市 広島YMCA
 内 容 * 『建設DXに資するICT施工の取組』
 講師;国土交通省総合政策局公共事業企画調整課
 課長補佐 岡本 由仁氏
 * 『中国地方の建設現場の生産性向上について』
 講師;国土交通省中国地方整備局企画部

建設情報・施工高度化技術調整官 樋野 義周氏

＊『ICT活用工事の課題と解決のヒント』

講師；(一社)日本建設機械施工協会 施工技術総合研究所

研究第3部 次長 藤島 崇氏

＊『施工現場に於ける BIM/CIM 全面適用への対応について』

講師；(一社)日本建設機械施工協会 中国支部 高田 純氏

(2) 新しい技術への対応

1) 3次元測量設計検討委員会の開催

国が令和5年度から BIM/CIM を原則適用される中で、県でも平成30年度から道路予備設計等で3次元測量設計(フロントローディング等)の試行に取り組んでいるが、設計時と施工時におけるソフトの互換性の低さやコストが割高になるなどの課題があり、県における3次元測量設計の今後の方向性は不明確な状況にある。

このような中で、これまでの3次元測量設計の試行結果を踏まえ、3次元測量設計の課題・問題点等を整理し、県と勉強会を行いながら、今後の方向性について県と一緒に検討していくため、令和4年度、協会に「3次元測量設計検討委員会」を設置した。

令和5年度は次のとおり活動した。

○ 委員 小林技術委員長、岩山副委員長、信岡委員、川本委員

アサヒコンサルタント(株)・(株)ウエスコ鳥取支社・西谷技術コンサルタント(株)・
(株)エスジーズ・シンワ技研コンサルタント(株) 各2名

○ 経過

・第1回委員会 7月25日(火)

BIM/CIM 関連業務の対応策(令和4年度 鳥取県測量設計業協会の対応方針)

令和5年度の国の動向を踏まえた鳥取県における CIM 活用業務について

CIM 業務を実施する上での課題

・令和元年度～令和4年度 3次元測量設計試行業務に関わる実態調査

・BIM/CIM 活用の検証・検討状況をまとめて第1回 BIM/CIM 勉強会で提出 11月24日

・BIM/CIM 活用に関する提案をまとめて第2回 BIM/CIM 勉強会で提出 1月23日

・BIM/CIM 活用業務に関する提案をまとめて第3回 BIM/CIM 勉強会で提出 2月20日

2) BIM/CIM 活用等勉強会の開催

令和5年度は次のとおり活動した。

○ 出席者 県 技術企画課 藤井課長、日笠参事、岡係長、河村係長

協会 小林技術委員長、岩山副委員長、川本委員、(株)ウエスコ鳥取支社

※災害対応がある中で出席者を絞って活動した。

○ 経過

- ・第1回勉強会 11月24日(金)
最近の国の動向、県におけるICT施策、BIM/CIM活用の方向性(県)
BIM/CIM活用の検証・検討状況(協会)
- ・第2回勉強会 1月23日(火)
BIM/CIMに係る発注方針案(県)
BIM/CIM活用に関する提案(協会)
- ・第3回勉強会 2月20日(火)
鳥取県BIM/CIM適用業務実施方針案・実施要領案・ロードマップ案(県)
BIM/CIM活用業務に関する提案(協会)
- ・県は、当協会の提案を踏まえ、「鳥取県におけるBIM/CIM導入方針・ロードマップ(短期・中長期)」を示され、令和6年度からBIM/CIMの段階的な導入を開始することになった。

3) 「既設RC橋梁群の維持管理システムの構築」

鳥取大学では、県の協力を得ながら今年度から5年間で鳥取SIP(第3期戦略型イノベーション創造プログラム)として、「既設RC橋梁群の維持管理システムの構築」に取り組むこととされている。ライフサイクルにおける橋梁群の補修スケジュールを構築し、橋梁の重要度評価による管理区分に応じた管理レベル(新技術導入～住民参画型)で維持管理を行うことを目指されている。また、地方創生ラボ(仮称)を設けて技術開発・実装・人材育成等を行い、建設分野の魅力向上にもつなげることを目指されている。

県から会議参加依頼があり、メンバーを選定し対応した。

< (仮称) インフラDBに基づく点検マニュアル策定委員会 (B会議) >

- メンバー 委員長 大崎総合研究所 若原副所長
- 副委員長 和幸設計 奥村技術顧問
- 鳥取大学 黒田教授
- 県 技術企画課 藤井課長、日笠参事、梅林補佐
道路企画課 堀部係長、坂田係長
- 事務局 アイ・エヌ・エス 丸山社長、多和田氏
- 県測協 小林技術委員長・岩山副委員長
川本技術委員(㈱荒谷建設コンサルタント鳥取支社)
アサヒコンサルタント(株)、(株)ウエスコ鳥取支社、(株)大地企画、西谷技術コンサルタント(株)、(株)鵬技術コンサルタント(株)、シンワ技研コンサルタント(株)、(株)ヨナゴ技研コンサルタント、(株)エスジーズ、(株)エース・プラン

○ 経過

- ・準備委員会 2月20日(火)

検討会議体の説明

2 巡目までの点検診断結果データからみる課題

S I Pによる技術開発と目標、協会への依頼事項

4) 「橋梁定期点検マニュアル」の改定

県では、「既設R C橋梁群の維持管理システムの構築」の取組の一つとして、令和5年度から「橋梁点検マニュアル」の改定に着手された。鳥取大学に委託し、当協会等と意見交換しながら、進められる。

また、令和6年度から当協会からも要望していた「橋梁補修ガイドライン」の策定にも取り組み、併せて「橋梁長寿命化総合マニュアル」の策定に取り組むこととされている。

この度、県から改定素案の提示・意見照会があり、メンバーを選定し対応した。

< 「橋梁定期点検マニュアル」(改定素案)に係る意見交換会 >

○メンバー 鳥取大学 黒田教授、和幸設計 奥村技術顧問

県 道路企画課 米田課長、白根補佐、堀部係長、坂田係長
技術企画課 藤井課長、日笠参事、梅林補佐

建設技術センター 福長課長、井上主幹

県測協 小林技術委員長・岩山副委員長

川本技術委員 (株)荒谷建設コンサルタント鳥取支社)

アサヒコンサルタント(株)、(株)ウエスコ鳥取支社、(株)大地企画、西谷技術コンサルタント(株)、鵬技術コンサルタント(株)、シンワ技研コンサルタント(株)、(株)ヨナゴ技研コンサルタント、(株)エスジーズ、(株)エース・プラン

○ 経過

・第1回 2月28日(水)

鳥取県道路橋梁定期点検マニュアル(改定素案)について

国土交通省「道路橋定期点検要領(案)」について

今後のスケジュール

意見交換

国の点検要領改定によって変更となる部分、データ連携、新技術の活用、定期点検の体制等

3 技術者の育成と資格取得の推進

(1) 技術士第一次・RCCM試験準備研修会

日 時 令和5年8月4日(金)

技術士一次研修 10時～12時

RCCM研修 13時10分～16時

| | |
|------------|---------------------|
| 場 所 | 倉吉市 伯耆しあわせの郷 大研修室 |
| 講 師 | (公社) 日本技術士会 鳥居 直也 氏 |
| 参 加 者 | 技術士一次研修 39名 |
| | RCCM研修 41名 |
| 受講者アンケート結果 | 分り易い 技術士 97,4% |
| | RCCM 100% |

(2) 建設技術研修検討委員会

委員会では、令和6年度の研修について、「新人研修の充実」、「現場実習の拡充」を掲げ取り組むこととされた。なお、「重複する研修の整理」として、鳥取県が7月に鳥大浜坂キャンパスの鳥取イノベーション実装フィールドで整備・研修を開催していることから、i-Construction等に関する研修は中止となった。

| | |
|-------|--|
| 開 催 日 | 令和5年10月17日(火) |
| 場 所 | 鳥取商工会議所 |
| 議 題 | ○ 令和5年度建設技術研修結果について ○ 令和6年度建設技術研修について ○ 加点予定研修について |
| 出 席 者 | 県技術企画課、農地・水保全課、鳥取市、建設業協会 等 小林委員長 |

4 その他技術力の向上

中国各県協会・県と連携して研修会等を開催し、技術力の向上・啓発に努めた。

また、全測連等主催の講習会案内、技術関係図書の斡旋紹介、技術情報等の提供を行った。

4-1 全測連等主催の各種技術講習会

- (1) 「実務者向けセミナー ～地域に根差した UAV 計測利活用事例～」 共催
(日測協主催、地区協共催 6月20日 広島)
- (2) 「測量・地理空間情報技術者のためのアドバンスセミナー」 共催
(日測協主催、地区協共催 10月12日 米子)
- (3) 「測量・地理空間情報技術者のためのアドバンスセミナー」 共催
(日測協主催、地区協共催 11月7日 広島)
- (4) 「令和5年度スペシャリストの会中四国支部(第8回)講演会」 後援
(日測協主催、地区協後援 8月3日 広島)
- (5) ドローン測量教育研究機構(DSERO)WEBセミナー(3月20日～4月21日 WEB)
- (6) 「i-Construction システム学」寄付講座 2023年度第1回公開ワークショップ
(4月25日 WEB)
- (7) TSによる3・4級基準点測量講習会(4月27日 松江)

- (8) 路線測量設計課程 I コース (Web 講習) (5月9日～12日 広島市)
- (9) 「砂防ダム調査・計画・設計実務実践研修会」(5月11・12日 WEB)
- (10) 令和5年度災害復旧実務講習会 (5月18・19日 東京都)
- (11) 「i-Construction システム学」 寄付講座 2023 年度 第2回公開ワークショップ
(5月23日 Web)
- (12) 道路設計 (予備設計) 研修会 (初級・演習) (5月24～26日 WEB)
- (13) G N S S による基準点測量 (Web 講習) (5月25日 米子市)
- (14) 令和5年度測量新技術講習会 (第1回) (5月26日 東京都測協 WEB)
- (15) 基準点測量 B 課程 (水準測量コース) 講習会 (6月5日～9日 廿日市市)
- (16) BIM/CIM 実践研修会 (6月7日～9日 WEB)
- (17) 測量・地理空間情報イノベーション大会(Web 中継) (6月13日～14日 広島市)
- (18) 中小河川の河道計画・設計実務実践研修会 (初級～中級) (6月15、16日 WEB)
- (19) ネットワーク型 RTK 法による基準点測量講習会 (6月16日 広島市)
- (20) 道路構造物設計実務実践研修会 (初級～中級 6月21日～28日 WEB)
- (21) 「i-Construction システム学」 寄付講座 2023 年度 第3回公開ワークショップ
(6月23日 Web)
- (22) 令和5年度農地及び農業用施設災害復旧技術向上研修会
(6月26日 倉吉市 会員；41名)
- (23) 第29回技術講演会 (6月30日 地質協会)
- (24) 令和4年度実施事業合同報告会 (7月5日～7日 WEB)
- (25) ハザードマップの基礎 (WEB 講習) (7月6日 広島市)
- (26) 洪水ハザードマップの基礎 (WEB 講習) (7月7日 広島市)
- (27) 三次元点群測量 (WEB 講習) (7月11日 広島市)
- (28) 路線測量・用地測量 (WEB 講習) (7月13日 松江市・広島市)
- (29) 「事例から学ぶ ため池改修 (補修・補強) 設計実務実践研修会」
(7月13・14日 広島・Web)
- (30) 防災調査課程講習会 I コース オンライン講習会 (7月24日～27日)
- (31) 橋梁補修工法選定研修会 (実務実践研修) (7月27・28日 Web)
- (32) 第25回 親と子の地学教室 (7月29日 地質協会鳥取県支部)
- (33) 令和5年度ダム管理技士試験及び養成講習会 (7月 東京)
- (34) 中小河川の河川計画実務実践研修会 (初級) (8月3日～4日 WEB)
- (35) 防災・減災セミナー2023 名古屋 (8月10日 名古屋)
- (36) 令和5年度公共物管理等の実務講習会【第2回 Web 講習会】
(8月16日～31日 東京都測協)

- (37) ゼロカーボンセミナー（8月18日 オンライン同時）
- (38) 橋梁耐震補強設計研修会（8月24日～25日 WEB）
- (39) 橋梁設計（初級～中級・演習）研修会（8月28日～30日 WEB）
- (40) 地理空間情報イブニング・セミナー（Web講習）（9月5日 広島）
- (41) 砂防ダム調査・計画・設計実務実践研修会 IN 福岡（9月7・8日 福岡、WEB 同時）
- (42) 令和5年度土木学会全国大会（9月11日～15日 広島）
- (43) 事例から学ぶ法面の調査点検・補修補強設計研修会（実務実践研修）IN 名古屋
（9月14・15日 名古屋、WEB 同時）
- (44) UAVを用いた空中写真測量講習会（9月20日 広島）
- (45) 路線測量設計課程 IIコース（Web講習）（9月25日～29日 広島）
- (46) 新道路橋示方書の他 橋梁設計研修会（実務実践研修）（9月25日・26日、WEB）
- (47) Society5.0に向けた公共事業における新技術の活用（10月4日～6日 鳥取市）
- (48) 中海・宍道湖・大山圏域活性化シンポジウム（10月3日 松江）
- (49) 第45回測量調査技術発表会（10月3日～17日 WEB 公開）
- (50) 落石対策の調査・計画・設計実務実践研修会 IN 岡山（10月5日～6日 岡山 WEB 同時）
- (51) 2023年制定 コンクリート標準示方書 発刊に伴う講習会（10月10日～11日 大阪）
- (52) 令和5年度地籍調査講習会【第3回Web講習会】（10月13日 東京都測協）
- (53) 令和5年サーベイアカデミー 新たな地理空間情報技術を知る講習会—新たな測位技術について学ぼう—（10月16日 WEB 同時）
- (54) 漁港施設補修設計研修会（実務実践研修）（10月16日～17日 WEB）
- (55) 測量数学・誤差学の基礎（Web講習）（10月20日）
- (56) 2023年度 i-Construction システム学寄付講座 成果報告会
（10月24日 オンライン）
- (57) 地域建設コンサルタントのためのBIM/CIM実践研修会～砂防ダムの予備設計～
（10月25日 WEB）
- (58) 令和5年サーベイアカデミー 航空グリーンレーザ計測（ALB）とその利活用—注目の航空レーザ測深（ALB）について学ぼう—（10月27日 WEB 同時）
- (59) 令和5年度空間情報未来会議（スペーシャリストの会全国大会）（11月9日 広島）
- (60) 河川技術者資格の試行活用説明会（11月9日 Web）
- (61) 令和5年度鳥取県支部第25回技術講演会（11月10日 地質協会鳥取県支部）
- (62) GIS（2級）B課程 IIコース（Web講習）（11月13日～18日 広島市）
- (63) 建設コンサルタント若年技術者育成のためのマネジメント
（11月13日～19日 オンライン研修）
- (64) ジオメトリストの会 地理空間情報勉強会 in 広島（11月17日 広島市）

- (65) 3D地形点群モデル解析基礎技術（11月21日 広島市）
- (66) 基準点測量A課程（測量平均コース）（11月27日～30日 広島市）
- (67) 社会・技術動向講演会 2023 in 東京（11月29日 東京）
- (68) G空間EXPO（会場；11月7日～8日 東京、オンライン；11月1日～12月10日）
- (69) 「スペシャリストの会 特別講演会」（DVD講演）（12月1日 広島）
- (70) 宅地造成及び特定盛土等規制法に基づく規制区域の指定等に伴う説明会
（オンライン 12月4～6日）
- (71) コンクリートの施工技術に関する講習会（12月19日 岡山）
- (72) 令和5年度 測量新技術講習会【第4回 Web 講習会】（12月～1月）
- (73) 第1回 i-Construction システム学寄付講座スタートアップワークショップ
（1月23日 WEB）
- (74) 「測量・地理空間情報技術者のための技術士取得支援セミナー（予備講座）」
（1月29日～11月29日 オンライン）
- (75) 令和5年度鳥取県被災宅地危険度判定士養成講習会（オンライン 2月1日～29日）
- (76) 実務者向けセミナー ～一歩進んだUAV利活用事例（2月6日 東京・WEB）
- (77) 令和5年度防災セミナー（2月13日）
- (78) 測量士答案練習セミナー（Web 講習）（3月4日～8日）
- (79) 令和5年度農地及び農業用施設災害復旧技術向上研修会（第2回）
（3月5日 倉吉市 会員；35名）
- (80) 第17回 i-Construction システム学寄付講座セミナー（3月6日 WEB）
- (81) 「i-Construction システム学」寄付講座 第3回協調領域シンポジウム
（3月8日 WEB）
- (82) 測量士補答案練習セミナー（Web 講習）（3月18日～21日）
- (83) 令和6年度建設業新卒者研修（4月2日～5日 倉吉市）
- (84) 基準点測量A課程（基準点測量コース）（Web 講習）（4月8日～14日）
- (85) 急傾斜地崩壊防止対策研修会（実務実践研修）（4月11日～12日 オンライン）
- (86) 「測量・地理空間情報技術者のための技術士取得支援セミナー（中核講座）」
（4月18日・オンライン）
- (87) TSによる3・4級基準点測量（4月18日 広島市）
- (88) 落石対策の調査・計画・設計研修会（4月18日～19日 オンライン）
- (89) 公共基準点測量成果のまとめ方（4月19日 松江市）
- (90) 橋梁補修工法選定研修会（実務実践研修）（4月25日～26日 オンライン）

4-2 技術情報・業務情報の提供

- (1) 令和5年度版設計業務等標準積算基準書

- (2) 〃 準拠 単価表作成ツール ERX-Ⅱ
- (3) 改訂3版 設計業務等標準積算基準書の解説
- (4) 『設計業務等標準積算基準書 測量業務等積算資料』 令和5年度
- (5) 公共測量作業規程の準則(令和5年3月31日改正版)
- (6) 令和5年度版 工事歩掛要覧<土木編 上下>
- (7) 改訂 土木工事積算必携
- (8) 土木施工の管理学
- (9) 令和5年版災害復旧工事の設計要領
- (10) 災害査定の手引き (令和5年版)
- (11) 2023年度版『公共測量積算ハンドブック』
- (12) 災害復旧実務講義集 (令和5年度版)
- (13) 令和4年発生 災害採択事例集
- (14) 公共測量成果検定における指摘事項事例集
- (15) 令和5年 測量士・測量士補 国家試験問題模範解説集
- (16) 都市再開発実務ハンドブック 2023
- (17) 補訂版 公共補償 基準要綱の解説
- (18) 改訂版 明解 事業喪失の理論と実務
- (19) 必携用地補償実務便覧 2024年版
- (20) 都市再開発実務ハンドブック 2023
- (21) 測量士・測量士補国家試験 科目別模範解答集(平成30年～令和4年)
- (22) 測量士・測量士補国家試験 受験テキスト
- (23) 実務者向け UAVを主体とした複合的な利活用事例集
- (24) 改訂4版 設計業務等標準積算基準書の解説
- (25) 月刊積算資料
- (26) 季刊土木施工単価
- (27) 季刊建築施工単価
- (28) 建設ITガイド2024
- (29) 2023年地理情報標準認定資格講習・試験周知
- (30) 地殻変動補正パラメータの公開に関する周知
- (31) 公共測量「作業規程の準則」の一部改正周知
- (32) デジタル臨時行政調査会での決定事項を踏まえた測量法第56条の5(標識の掲示)に係る対応等周知
- (33) BIM/CIMに関するヘルプデスクの開設周知

II. 経営基盤の充実

鳥取県との意見交換会を実施する等積極的に活動を行うとともに、昨年に引き続き、歩掛りの検討等を行った。県との意見交換会で課題となった事項については、検討・協議を重ね、県へ要望等を実施した。

1 県内企業の特性を尊重した入札制度・経営環境の改善

(1) 入札制度の検証

1) 総合評価競争入札制度等に関する県との協議

新型コロナウイルスによる感染防止のため、WEB も活用しながら総合評価競争入札の検証結果の説明会等を実施した。

① 県による総合評価入札の検証結果説明会 7月20日 (木)

開催方法 県庁・WEB

出席者 県 ; 岸本次長、県土総務課 西村室長、岡本係長

協会 ; 会場 - 理事・監事

Web - 会員

内容 令和4年度の総合評価競争入札の実施結果

鳥取県測量設計業協会からの質問 (R5. 3. 17 意見交換) への回答

この会で、県から総合評価競争入札の見直しの方向性などの提案が示され、会員意見を経営委員会で取り纏め、県へ提出した。(9. 4)

<県対応>

○入札・契約手続等

・契約関係書類の電子送付

電子契約システムの導入により入札契約事務の効率化が図られた。契約図書以外の契約関係書類等についても、「とっとり電子申請サービス」を利用した提出について、令和6年度から東部管内で試行を開始し、対応可能であれば秋頃に全発注機関での導入を目指されている。

・技術者情報の事前確認の実施

入札事務の効率化を図るため、総合評価競争入札に用いる技術者情報を応札前に入札参加者自らが確認を行う事前確認制度を令和6年度から試行される。

・開札と落札者決定の同日実施の検討

開札と落札者決定の同日実施については、技術者情報の事前確認の実施による入札担当者の負担軽減状況を検証した上で検討を行う。

○業界の健全な育成の取り組み

・若手技術者育成支援モデル業務

地域密着型総合評価競争入札で発注する土木関係建設コンサルタント業務を対象に45歳以下の若手技術者育成を支援する「若手技術者育成支援モデル業務」を令和6年度から各発注機関1件程度を目標として試行される。

(R6.3.13 県試行要領制定通知 4.1 以降調達公告分から適用)

・**トンネル点検業務の特例措置**

トンネル点検業務における県内事業者育成を目的に平成27年度から実施している入札参加条件を共同企業体に限定する特例措置について、特例措置終了後の入札参加条件を定めた上で令和6年度から3年に限り延伸される。

(R6.3.13 県運用継続通知)

・**電線共同溝設計業務の特例措置**

電線共同溝設計業務について、難易度を「高い」から「特に高い」に改めるとともに、県内事業者を育成するため、入札参加条件を共同企業体に限定する特例措置を令和6年度から12年度まで実施される。

(R6.3.13 県運用通知 4.1 以降調達公告分から適用)

○**入札制度の見直し**

・**総合評価競争入札の対象業務の改正**

総合評価競争入札の対象業務について、業務の品質確保・向上の観点から再整理し、令和6年度から適用される。

(R6.3.13 県運用通知 4.1 以降調達公告分から適用)

・**落札方式等の委託対象設計金額の見直し**

近年の設計労務単価や歩掛の改正に伴い、委託対象設計金額が上昇しており、特に地域密着型総合評価競争入札の割合に地域差が生じていることから、令和6年2月に県から改正案が提示された。総合評価対象業務の見直しを踏まえた検証を令和6年度から行い、必要な修正を行った上で令和7年度からの適用を目指されている。

・**受注量（会社の手持ち業務件数）の評価の見直し**

受注量（会社の手持ち業務件数）の評価について、総合評価対象業務や落札方式等の委託対象設計金額の見直しを踏まえた上で、成果品の品質確保と企業の施工能力の維持のバランスのとれた評価方法について検討を行う。

・**担当技術者の取扱いの改正**

簡便型総合評価競争入札において、配置技術者の評価の公平性を確保するため、評価の対象とする担当技術者の取り扱いについて改正し、令和6年度から適用される。(R6.3.13 県運用通知 4.1 以降調達公告分から適用)

○**その他**

・優良業務表彰の見直し

県土整備部長が行っている優良業務表彰について、担い手不足が喫緊の課題である中で技術者のモチベーションの向上を図るため、知事による表彰を検討される。令和6年度の早期に知事による表彰について検討され、知事了解が得られれば令和6年度から知事表彰とされる。

(2) 業務履行環境の改善に向けた取り組み

1) 委託業務全般に係る「全県統一事項」について

全県統一事項について、8月8日、県へ要望し、今後の対応について県から回答を得た。

<県対応>

- 橋梁補修調査設計業務委託歩掛の改定

令和5年度に改定された。

(R6.3.18 県改定通知 4.1以降適用)

- 急傾斜地崩壊防止工事技術指針の改定

令和5年度に改定された。

(R6.3.21 県改定通知 4.1以降適用)

2) 「橋梁補修調査設計業務」歩掛の改定

協会から要望した「橋梁補修調査設計業務」歩掛の改定について、橋梁補修調査設計検討会を設置し対応した。

- メンバー；小林技術委員長、岩山副委員長

アサヒコンサルタント(株)、(株)荒谷建設コンサルタント鳥取支社

西谷技術コンサルタント(株)、(株)エース・プラン

シンワ技研コンサルタント(株)

- 経過

6月 7日 第1回検討会開催（歩掛改正に係る意見・要望取り纏め）

7月 19日 県へ意見・要望を提出

8月 3日 第1回歩掛改定に係る県との意見交換（県の改正方針）

8月 31日 県より「改正の方向性案、改定項目ごとの検討事項」一覧提示

9月 20日 第2回検討会開催（県の改正の方向性案に対する意見取り纏め）

29日 県の改正の方向性案に対する意見を県へ提出

10月27日 第2回歩掛改定に係る県との意見交換（協会意見への対応方針）

11月28日、12月14日 県からの照会を受け、橋梁補修調査設計業務に係る仕様書、歩掛改訂項目に対する意見を県へ提出

「橋梁補修調査設計業務」歩掛について、令和5年度に改定された。

3) 「鳥取県急傾斜地崩壊防止工事技術指針」の改定

県より意見・要望について照会があり、各会員から意見聴取、取り纏めのうえ、7月19日、県へ回答した。「急傾斜地崩壊防止工事技術指針」は、令和5年度に改定された。

4) 「監督補助業務委託」

監督補助業務に関する要望について、各会員から意見聴取、取り纏めのうえ、8月8日に県へ要望し、今後の対応について県から回答を得た。

<県対応>

○監督補助業務の業務内容（範囲）と打合せ時期・方法について

1 1月の計画調査課長会議で周知した。

○監督補助業務委託の発注見込み

できるだけ早期に公表する

○監督補助員の資格要件について

令和6年度から1級土木施工管理技士補を資格要件に追加することとし、令和6年1月に建設工事監督補助業務委託共通仕様書を改定済。

5) 長寿命化計画点検業務及び砂防巡視点検システムの説明会

県治山砂防課では、昨年改修されたこのシステムを利用した結果を基に再改修され、その説明会を開催していただいた。

開催日 4月28日

場 所 受注者；県庁講堂 希望者；WEB

6) 道路工事関係技術便覧に関する説明会（WEB）（再掲）

令和5年3月15日に発行された「道路工事関係技術便覧」（第六版）について、説明会を開催していただいた。

7) 砂防・治山技術指針に関する説明会（WEB）（再掲）

令和5年3月に改定された「鳥取県砂防技術指針」、「治山技術指針」について、説明会を開催していただいた。

(3) 経営環境の改善に向けた取り組み（業務領域の確保・拡大）

1) トンネル点検業務の特例措置（再掲）

トンネル点検業務における県内事業者育成を目的に平成27年度から実施している入札参加条件を共同企業体に限定する特例措置について、特例措置終了後の入札参加条件を定めた上で令和6年度から3年間に限り延伸される。

2) 電線共同溝設計業務の特例措置（再掲）

電線共同溝設計業務について、難易度を「高い」から「特に高い」に改めるとともに、県内事業者を育成するため入札参加条件を共同企業体に限定する特例措置を令和6年度から12年度まで実施される。

2 働き方改革の推進と労働環境の改善

(1) デジタル技術を活用した業務の効率化等の取り組み

1) 契約図書の電子化

令和5年8月から電子契約システムの導入により契約図書の電子化を行い、入札契約手続きの効率化が図られた。

○ 電子契約サービス利用説明会

開催日 7月21日 県庁

25日 WEB

2) 契約図書以外の契約関係書類の電子送付

契約図書以外の契約関係書類等についても「とっとり電子申請サービス」を利用した提出について、令和6年度から東部管内で試行を開始し、対応可能であれば秋頃に全発注機関での導入を目指されている。

○ とっとり電子申請サービスを利用した契約書類提出（試行）の説明会

開催日 3月13日 鳥取県土整備事務所

3) 電子入札システム改修による技術者情報の事前確認の実施

入札事務の効率化を図るため、総合評価競争入札に用いる技術者情報を応札前に入札参加者自らが確認を行う事前確認制度を令和6年度から試行される。

○ 技術者情報を事前確認するための電子入札システム改修に伴う説明会

開催日 2月29日 WEB

3月 1日 県庁

(2) 会員相互の親交・情報交換のための懇親会の開催

1) 第12回通常総会及び報告会終了後の懇親会

2) 「親睦グラウンドゴルフ大会」

日時 6月1日(木)

場所 レークサイド大栄

参加者 79名(26社)

3 国・県等との連携

(1) 県との意見交換会等の実施

開催日 8月8日(火)

場所 鳥取市 とりぎん文化会館

出席 県；小田原部長、岸本次長、岩下河川港湾局長、米増道路局長、県土総務課 西村室長、技術企画課 藤井課長、山中補佐、岡係長、政策法務課 明治主事

協会；全会員

協会提出議題

- 1 防災・減災、国土強靱化対策等の推進と公共事業予算・業務量の安定的・持続的な確保について

- 2 県におけるインフラ分野のDX、BIM/CIMの推進について
- 3 将来の担い手の確保・育成について
- 4 その他

<県対応>

1 防災・減災、国土強靱化対策等の推進と公共事業予算・業務量の安定的・持続的な確保について

(1) 国土強靱化地域計画の見直し

新たな国土強靱化基本計画に合致する事業を整理し、「災害激甚化を踏まえた防災機能向上調査会議」における有識者の意見も踏まえ、このたびの台風7号に対する県全体のインフラ機能等の評価等を行ったうえで、今後の激甚化する自然災害に耐えうるインフラ機能の強化を図る施策プログラムを充実させるなど、国土強靱化地域計画の見直しを行う。

2 県におけるインフラ分野のDX、BIM/CIMの推進について

(1) 「とっとり建設DXマスタープラン(仮称)」早期策定とロードマップ提示

県は、令和5年度、「とっとり建設DXマスタープラン」を策定され、短期・中長期の取組みを示された。

○契約図書の電子化(再掲)

令和5年8月から電子契約システムの導入により契約図書の電子化を開始した。契約図書以外の契約関係書類等についても、「とっとり電子申請サービス」を利用した提出について、令和6年度から東部管内で試行を開始し、対応可能であれば秋頃に全発注機関での導入を目指されている。

○電子納品のオンライン化

令和6年度から、県は、米子県土整備局管内の測量設計業務について、オンライン電子納品の試行を受注者希望型で実施される予定。

(2) 県の「BIM/CIM推進計画」の早期策定とロードマップ提示

県は、令和5年度、「鳥取県におけるBIM/CIM導入方針・ロードマップ(短期・中長期)」を示され、令和6年度からBIM/CIMの段階的な導入を開始することになった。

○BIM/CIM活用等勉強会の開催(再掲)

- ・第1回勉強会 11月24日
- ・第2回勉強会 1月23日
- ・第3回勉強会 2月20日

鳥取県BIM/CIM適用業務実施方針案・実施要領案・ロードマップ案(県)
BIM/CIM活用業務に関する提案(協会)

○BIM/CIMの官民一体となった人材育成（再掲）

鳥取イノベーション実装フィールドで3次元測量設計等の人材育成を目的とした3次元測量設計、BIM/CIM・ICT施工技術者養成研修等を実施。

・3次元測量設計技術者養成研修 9月26日、27日

・BIM/CIM技術者養成研修

【道路編】 10月12日

【砂防編】 10月13日

・ICT施工技術者養成研修 10月19日

3 将来の担い手の確保・育成について

○若手技術者育成支援モデル業務（再掲）

「若手技術者育成支援モデル業務」を令和6年度から試行される。

○測量等業務における熱中症対策

「測量等業務における真夏日を理由とする履行期間の延伸について」

令和5年12月に通知された。

（協会の対応）

「測量等業務における熱中症対策に係る経費の計上について」12月22日、県土整備部長へ要望し、2月14日、技術企画課長へ測量等業務における熱中症対策に係る経費に係る資料を提出した。

引き続き、令和6年5月の地区協定例会で、「全測連を通じて国土交通省へ要望していく」ことについて提案し協議する。

4 その他

○監督補助業務委託（再掲）

・監督補助業務の業務内容（範囲）と打合せ時期・方法

11月の計画調査課長会議で周知

・監督補助業務委託の発注見込み

できるだけ早期に公表

・監督補助員の資格要件

令和6年度から1級土木施工管理技士補を資格要件に追加するよう

令和5年1月に建設工事監督補助業務委託共通仕様書を改定済。

（2）県内事務所長との意見交換会等の実施

開催日 令和5年11月30日（木）

場所 鳥取市 ホテルモナーク鳥取

出席

国土交通省中国地方整備局

| | |
|------------|---------|
| 企画部技術管理課長 | 山 村 嘉 治 |
| 鳥取河川国道事務所長 | 貴 田 勝太郎 |
| 同 副所長 | 松 岡 弘 久 |
| 同 副所長 | 村 上 友 章 |
| 倉吉河川国道事務所長 | 藤 原 年 生 |
| 同 副所長 | 稲 田 一 敏 |
| 同 副所長 | 平 西 邦 裕 |
| 日野川河川事務所長 | 大 塚 尚 志 |
| 同 副所長 | 乗 松 晃 生 |

全会員

○講 演

「建設コンサルタント業務等の最近の動向について」

講師：中国地方整備局企画部

技術管理課長 山 村 嘉 治 氏

○意見交換

協会提出議題 ・ D X 推進「三次元測量・設計業務（BIM/CIM）」について
 ・ 担い手確保・育成のための環境整備について
 地元企業（県内本店）の活用促進について
 働き方改革の推進

4 その他経営基盤の充実

（1）各種経営講習会への参加

- ・ 電子契約サービス利用説明会（7月21日、25日 WEB）（再掲）
- ・ 令和6年度発注者支援業務等に関する民間事業者向け説明会（12月6日 WEB）
- ・ 技術者情報を事前確認するための電子入札システムの改修に伴う説明会（再掲）

（2月29日 WEB、3月1日 県庁）

（2）企業倫理・法令遵守の徹底

- 1) 令和5年度建設関連5団体共催講習会（10月12日 広島市）
- 2) 建設関連業の適正取引に関する講習会

（11月15日、2月20日 東京都・オンライン）

（3）経営関係業務支援

- 1) 新型コロナウイルス感染防止について
 「新型コロナウイルス感染症の感染防止対策」に沿いながら活動した。
- 2) 国、県等の新型コロナウイルス感染防止についての情報を提供した。
- 3) 「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」への対応について

Ⅲ. 業界の将来に向けて

1 新規技術者確保に向けた環境整備

(1) 建設コンサルタントの魅力発信の取り組み

1) 郷土づくりシンポジウム、東・中・西部の高校での出前講座の実施（再掲）

令和5年度は、「地域を守るインフラDXの取組みを学ぶ」をテーマとして、産官学によるインフラDXの取組みを学ぶとともに、東・中・西部の高校で「高校生にわかりやすい出前講座」を実施し、建設コンサルタント業界の果たす役割や大切さ、業界の魅力を発信した。

○シンポジウム、出前講座PRのビデオを協会公式YouTubeで配信した。

○開催結果をまとめたパンフレットを作成し、関係機関等に広く提供した。

2) 鳥取大学での応用測量学の出前講座の実施

○応用測量学(最新測量技術)

鳥取大学土木工学2年生、社会経営工学3年生 50名 11月14日

講師：アサヒコンサルタント(株)

3) 協会パンフレット作成

測量設計業の将来の担い手に対して協会及び会員各社の魅力を伝えるため、令和5年度に若手社員を委員とする広報（パンフレット作成）部会を設置、建設コンサルタントの仕事を理解していただくようパンフレットを作成した。今後、出前講座・企業説明会等に活用し業界への理解を深め、将来の担い手確保に努める。

○広報（パンフレット作成）部会

部会メンバー 西村総務副委員長、渡部委員

アイコンヤマト(株)、アサヒコンサルタント(株)

(株)ウエスコ鳥取支社、鵬技術コンサルタント(株)

西谷技術コンサルタント(株)

日時：令和5年6月26日 13:30～15:30

場所：倉吉伯耆しあわせの郷

内容：パンフレットの内容について意見交換

○部会メンバーの活動

7月 パンフレットの構成・内容について部会メンバーから意見提出

8月～9月 パンフレット（構成たたき台）作成、部会メンバーから意見提出

10月～11月 パンフレット案作成・資料収集

12月 パンフレット案について部会メンバーから意見提出

12月25日 協会パンフレット作成

(2) 県等の政策との連携

1) 鳥取県建設分野担い手確保・育成等連携協議会

鳥取県では、公共工事の品質確保の促進に関する法律第3条の理念に則り、行政、学術機関、民間企業等関係機関が、連携して建設分野の担い手の確保・育成の取組及び公共工事の生産性を向上させる取組を推進すること、持続可能な建設産業の発展及び建設分野における県の強靱化につなげることを目的としてこの会を設置され、この会のメンバーとして、当協会も参加した。

令和5年度は、鳥取大学浜坂キャンパスで3次元測量設計技術者養成研修、交流会等開催し建設産業の魅力発信等に努めた。

① 第1回（5月11日）【書面協議】

- ・令和4年度決算の承認について

② 第2回（10月20日）

- ・令和5年度の進捗状況と今後の課題への対応

③ 第3回（3月18日）

- ・令和5年度決算（案）について
- ・令和6年度予算計画について

④ 建設産業で働く人の交流会

開催日 令和6年2月8日

場 所 中部建設業協会

参加者 鳥取県、鳥取県建設業協会

鳥取県測量設計業協会 12名

内 容 「つながり方と働き方」についてのグループワーク

⑤ 専門高校等へのUAV測量演習等

○ 測量演習（3次元測量）

青翔開智中学校・高等学校 高校1年 55名 5月17日

講師：アイコンヤマト(株)

○ UAV測量演習

倉吉農業高校2年 5名 - 1月18日 講師：(株)ジーアイシー

鳥取工業高校1年 25名 - 12月15日 講師：アイコンヤマト(株)

⑥ 3次元測量設計技術者養成研修（再掲）

開催日 令和5年9月26日、27日

場 所 鳥取大学乾燥地研究センター

⑦ BIM/CIM 技術者養成研修（再掲）

【道路編】

開催日 令和5年10月12日
場 所 鳥取県建設技術センター

【砂防編】

開催日 令和5年10月13日
場 所 鳥取県建設技術センター

⑧ ICT 施工技術者養成研修（再掲）

開催日 令和5年10月19日
場 所 鳥取大学乾燥地研究センター

⑨ 第6回「とっとり けんせつ 魅力発信フォトコンテスト」審査会 [書面審査]

県内の小・中学校に通う児童・生徒からの応募の中から、17点の入賞作品を決定。

2) 令和5年度インターンシップ研修生受入れ 8社希望

3) 人材育成センター 令和5年度企業派遣研修 10月4日～6日

対応；(株)広洋コンサルタント

2 業界を担う次世代の育成

(1) 次世代を担う経営勉強会 [不実施]

(2) 若手技術者勉強会

業界を担う若手技術者の育成とシニア人材の活用を図るため、シニア技術者を交えたこの勉強会を開催した。

開催日 令和5年7月6日（木）

場 所 倉吉市伯耆しあわせの郷

参加者 若手委技術者 40名

内容・講師

* 業界の動向、公共事業の流れ

* 測量・設計業務に対応した基礎知識の習得 ①

講 師：経営委員会 副委員長 井上 孝之

* 測量・設計業務に対応した基礎知識の習得 ②

講 師：経営委員会 委 員 平尾 繁和

* グループワーク テーマ：測量設計業の魅力など

講 師：経営委員会 委員長 山本 賢一郎

副委員長 井上 孝之

委 員 平尾 繁和

委 員 田栗 信昭

委 員 今出 上

(3) 「若手技術者育成支援モデル業務」の試行（再掲）

将来の担い手の確保・育成の観点から、若手技術者の業務従事機会の確保のため、地域密着型総合評価競争入札で発注する土木関係建設コンサルタント業務を対象に45歳以下の若手技術者育成を支援とする「若手技術者育成支援モデル業務」を令和6年度から各発注機関1件程度を目標として試行される。

(4) 中国地区協議会「次世代の会」[不実施]

鳥取県測協代表の委員として、信岡社長と田栗社長の2名を決定している。

(令和4年度第3回理事会決定)

3 公共の福祉の増進

(1) 災害復旧・復興への技術協力及び技術援助

1) 令和5年台風7号豪雨に対する災害応援

令和5年台風7号により県内で過去最大級の災害が発生し、鳥取県から災害協定に基づく応援要請があり、災害復旧に向けて全会員が対応した。

- 8月23日 台風7号豪雨の災害対応に伴う県通常業務の工期延伸措置、災害復旧に係る合同説明会の開催、災害査定段階的实施等について県へ申し入れ
- 8月25日 「台風7号豪雨の被災対応に伴う通常業務（測量設計等業務）の取り扱いについて」県土整備部長通知
- 8月25日 台風7号豪雨の災害対応に伴う国通常業務の工期延伸措置、災害査定箇所の早期決定等について県へ申し入れ
- 8月30日 「台風7号豪雨の被災対応に伴う通常業務（測量設計等業務）の取り扱いについて」農林水産部長通知
- 8月30日 「台風7号豪雨の被災対応に伴う通常業務（測量設計等業務）の取り扱いについて」県土整備部長から中国地整企画部長へ依頼
- 9月5日 「台風7号豪雨による災害復旧対策の円滑な実施等に伴う業務の取り扱いについて」中国地整企画部から県内事務所長へ通知
- 9月5日 令和5年度災害復旧事業に係る合同説明会開催（協会員63名参加）
- 11月8日 「測量等業務における労働災害防止等について」会員へ周知
令和5年台風7号豪雨関係の災害復旧に係る測量等業務において、土砂崩落現場からの転落などの労働災害が発生したことを受け、測量等業務において労働災害等が発生した場合の速やかな報告と測量等業務における労働災害防止対策等を徹底するよう周知した。

2) 令和5年台風7号豪雨に伴う「既設砂防堰堤の堆砂状況の臨時点検」

鳥取県から災害協定に基づき既設砂防堰堤の堆砂状況の臨時点検の応援要請があり、臨時点検を行った。

9月11日～12月28日 砂防堰堤（鳥取市内9基、三朝町内4基）

協力会社（東部12社、中部2社）

3) 台風7号の教訓を活かした災害対応とインフラ機能強化等の検討

台風7号を教訓として、「災害の激甚化を踏まえたインフラの機能強化」の検討を県が進められる中、当協会としても、「台風7号の教訓を活かした迅速な災害対応や災害に強い道路ネットワーク等」の検討を提案し、今後、県と連携して検討することになった。

12月6日～19日 令和5年台風7号豪雨災害への対応に関するアンケート調査を実施

12月22日 会長から県土整備部長へ申し入れ

令和5年台風7号の教訓を活かした災害対応の検討

1月17日 「令和5年台風7号の教訓を活かした災害対応に係る提案」県へ提出・説明

2月13日 県土整備部長と意見交換

令和5年台風7号の教訓を活かした災害対応

4) 令和6年能登半島地震災害への協力

令和6年1月1日に発生した能登半島地震災害からの復興を願い、鳥取県へ義援金100万円、全測連へ支援金10万円を寄付した。

また、石川県測協からの災害復旧業務応援要請に対応し、14社による災害復旧業務への協力体制を整えた。今後、要請に応じて活動していく。

応援にあたっては、県へ通常業務の工期延伸等申し入れ、関係先へ周知された。

1月19日 「令和6年能登半島地震災害復旧業務の支援について」石川県測協・全測連より協力依頼

1月24日 「令和6年能登半島地震災害支援金拠出のお願い」全測連

2月5日 令和6年能登半島地震災害支援金の寄付

2月9日 「令和6年能登半島地震災害復旧業務の支援について」石川県測協・全測連へ回答（対応可能会社14社）

2月15日 能登半島地震災害義援金贈呈式

<平井知事のお礼の挨拶>

「協会の方々には台風7号災害の時にも迅速に対応して頂き感謝している。今日頂いたご支援は大きな意味がある。被災地の人々に寄り添い皆様と一緒に支援の輪を広げていきたい。」

2月15日 令和6年能登半島地震災害復旧業務の支援に伴う通常業務（測量設計等業務）の工期延伸措置等について県へ申し入れ

2月29日 「令和6年能登半島地震災害復旧業務の支援に伴う通常業務（測量設計等業務）の取扱いについて」県通知

5) 災害の発生に備えた応援協力体制の確認・整備

降雨による災害について迅速に対応し、早期の災害復旧となるよう努めた。

また、協力体制等についての問題点等を調査し、より迅速な対応・復旧となるよう検討した。

6) 県の災害支援要請訓練参加 (中止)

7) 水際・防災対策連絡会議

- 令和6年度水際・防災対策連絡会議 (開催予定)
- 台風等被災時の水際・防災対策についての情報共有・対策に係る情報提供等がなされた。

8) 鳥取港港湾 BCP 情報伝達訓練 (3月18日)

地震等により鳥取港港湾施設等に被害が発生したと想定し、港湾管理者と鳥取港港湾BCP連絡協議会会員の間で情報伝達訓練が行われ、参加した。

訓練場所：鳥取港港湾BCP連絡協議会会員事務所

参加者：鳥取港港湾BCP連絡協議会会員

9) 鳥取河川国道事務所「令和6年度災害応急対策活動等に関する基本協定」周知

(2) 公共の福祉に寄与する事業の実施及び参加

1) 第25回鳥取県児童生徒地域地図発表作品展 (後援)

令和5年度もこの作品展に後援し、小学校の部1名に当協会会長賞を授与した。

会長賞：「ぼくのまちのマンホール」 鳥取市立岩倉小学校1年生松井さん

表彰式：令和5年12月16日 とりぎん文化会館

小林副会長授与

2) 鳥取県建設技術センター研修会への講師派遣

「測量実習研修」(県委託研修 9月12日)

講師；(有)江府技研コンサルタント、ダイニチ技研(株)、(株)アイテック

シンワ技研コンサルタント(株)

「測量実習研修」(センター自主研修) — 不実施

3) 測量演習 (3次元測量) (再掲)

青翔開智中学校・高等学校 高校1年 55名 5月17日 講師：アイコンヤマト(株)

4) UAV 測量演習 (再掲)

倉吉農業高校2年 5名 — 1月18日 講師：(株)ジーアイシー

鳥取工業高校1年 25名 — 12月15日 講師：アイコンヤマト(株)

5) 出前講座 (再掲)

- ドローン活用紹介・飛行演習等

倉吉農業高校2年 5名 — 9月28日 講師：(株)ジーアイシー

人材倉吉校 3名

- デジタルカメラを用いた3次元測量

米子工業高校2年 11名 - 10月 4日 講師：シンワ技研コンサルタント(株)

○測量業務紹介等

鳥取工業高校2年 18名 - 10月25日 講師：アサヒコンサルタント(株)

○応用測量学(最新測量技術)

鳥取大学土木工学2年生、社会経営工学3年生 50名 11月14日

講師：アサヒコンサルタント(株)

6) 人材育成センター 令和5年度企業派遣研修 (再掲)

10月4日～6日 対応；(株)広洋コンサルタント

7) 測量設計無料相談の実施

測量に関連した用語、資格者会社の問い合わせ等について、事務局、協会ホームページで対応した。また、各会員が年間を通して個々に実施した。

8) 第16回鳥取県県土整備部測量競技会 (中止)

9) (公財) 鳥取県建設技術センター理事

理事：山本 賢一郎 (西谷技術コンサルタント(株))

任期：令和4年5月開催の評議員会から令和6年5月開催の定時評議員会まで
(2年間)

10) 米子市景観審議会委員

委員：福 景 宏 通 (株)ワーパス)

任期：令和5年4月1日から令和7年3月31日まで (2年間)

11) 基準点説明板設置・維持事業

鳥取市、倉吉市、米子市に設置している基準点説明板の維持・管理を行った。

12) 「緑の募金」運動賛同

13) 日本赤十字活動協賛

14) 浜坂実装フィールド オープニングセレモニー (7月7日 会長)

15) 中国自動車道岡山米子線(蒜山IC~境港間)整備促進総決起大会(11月13日 大西副会長)

16) 山陰近畿自動車道整備促進決起大会(1月23日 澤 会長)

(3) 「測量の日」関連行事の実施

1) 第26回中国地区測量技術講演会 (6月30日 広島市)

2) 6月3日の「測量の日」を中心に、懸垂幕、ポスターを提示した。

鳥取県では、中国電力ふれあいホール電光掲示板に表示され、PRに努めていただいた。

3) 「測量の日」中国地区連絡協議会 (1月22日 WEB)

IV. 全測連その他関係諸団体との連携

1 全測連関係

澤会長が、未来の測量委員会 三次元計測部会員として活動した。

- (1) 令和5年度 第1回臨時総会（4月12日 書面）
 - 役員を選任について
- (2) 令和5年度定時総会（6月13日 東京都 澤会長）
 - 令和4年度貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の承認について
 - 令和4年度事業報告について
 - 令和5年度事業計画及び令和5年度収支予算
 - 災害支援金制度規程の改正
- (3) 会長懇談会・令和6年賀詞交歓会（1月10日 東京 山本副会長）
 - 国土交通省との意見交換会について
- (4) 全測連会長会議（10月24日 高松市）
- (5) 地区協議会会長会議（9月29日）
 - 各地区協議会からの報告
 - ・ 地方整備局等との意見交換会について
 - ・ 国土交通省への要望等について
- (6) 新型コロナウイルス感染症対策等についての情報提供
- (7) 「下請契約及び下請代金支払の適正化並びに施工管理の徹底等について」周知
- (8) 下請法遵守状況の自主点検調査

公正取引委員会及び中小企業庁では、9月の「価格交渉促進月間」を見据え、この調査を実施され、全測連が取り纏めた。（鳥取県測協 28社提出）

その後、フォローアップがなされ、「パートナーシップ構築宣言」の策定状況を回答した。

（回答；25社）
- (9) 「労務費の適切な転嫁のための価格交渉に関する指針」について周知
- (10) 「不当な下請代金の減額の防止に係る要請」について周知
- (11) 「低入札価格調査基準の算入率・範囲の改定」について周知

2 全測連中国地区協議会関係

- (1) 第84回定例会（5月11日 出雲市）
 - 令和4年度事業報告並びに収支決算の承認について
 - 令和5年度活動方針及び事業計画（案）並びに収支予算（案）について
 - 各県提出議題に係る意見交換
- (2) 第85回定例会（11月6日 宇部市）
 - 中国地整との意見交換会（10/30）について

○ 全測連、中国地区協議会の活動報告

○ 各県提出議題に係る意見交換

(3) 会長・副会長会議

1) 第1回(4月10日 広島市)

① 令和4年度事業執行状況及び決算について

② 令和5年度事業計画及び予算について

2) 第2回(5月11日 出雲市)

① 情報・意見交換

3) 第3回(7月28日 広島市)

① 地整との意見交換会議について

② 第10回土木設計関係技術発表会について

4) 第4回(2月16日 宇部市)

① 令和5年度事業執行中間報告

② 令和6年度事業計画

③ 情報・意見交換

(4) 事務局長会議(4月14日 広島市)

① 会長・副会長会議 4/10 の結果について

② 令和4年度事業報告、決算について

③ 令和5年度事業計画(案)、予算(案)について

④ 各県測協からの課題等について

(5) 国土交通省中国地方整備局との意見交換会

・中国地整企画部との意見交換会

中国地区協主催の会に澤会長、山本副会長が出席した。

開催日 令和5年10月30日

場所 広島市 ひろしま国際ホテル

出席者

【国土交通省中国地方整備局】

| 所 属 | | 役 職 | 氏 名 |
|-------|-----------|---------|---------|
| 部 | 課 | | |
| 企 画 部 | ————— | 部 長 | 舟 橋 弥 生 |
| | | 技術調整管理官 | 山 田 明 |
| | | 技術開発調整官 | 今 津 勉 |
| | 技 術 管 理 課 | 課 長 | 山 村 嘉 治 |
| | | 課 長 補 佐 | 豊 田 清 光 |

【全測連中国地区協議会】

| 役 職 | 氏 名 | 所 属 協 会 (役 職) |
|---------|-----------|-------------------|
| 会 長 | 和 田 晶 夫 | 島根県測量設計業協会 (会 長) |
| 副 会 長 | 澤 克 生 | 鳥取県測量設計業協会 (会 長) |
| | 清 水 英 二 | 岡山県測量設計業協会 (会 長) |
| | 森 脇 克 彦 | 広島県測量設計業協会 (会 長) |
| | 伊 藤 輝 泰 | 山口県測量設計業協会 (会 長) |
| 幹 事 | 山 本 賢 一 郎 | 鳥取県測量設計業協会 (副会長) |
| | 高 島 俊 司 | 島根県測量設計業協会 (副会長) |
| | 土 井 良 浩 | 岡山県測量設計業協会 (副会長) |
| | 荒 谷 悦 嗣 | 広島県測量設計業協会 (副会長) |
| | 花 村 浩 史 | 山口県測量設計業協会 (副会長) |
| 事 務 局 長 | 竹 原 敏 夫 | 島根県測量設計業協会 (事務局長) |

意見交換項目 (1) DX推進「三次元測量・設計業務 (BIM/CIM)」について

(2) 担い手確保・育成のための環境整備について

- ・地元企業（県内本店）の活用促進について
- ・働き方改革の推進

○ 地整との意見交換会にあたり、データ収集、資料を作成した。

(とりまとめ 鳥取県測協 アサヒコンサルタント(株))

(6) 令和5年度地理空間情報産学官中国地区連携協議会 (11月28日 Web会議)

協議会構成員；日測協中国センター長、地区協会長、中国地方大学、地整技術管理課長、
農政局地域整備課長、県、市

内 容； ○3次元データ(計測技術、都市・地形モデル等)の整備・活用

① 3次元地図関連の国土地理院の取組

国土地理院中国地方測量部 高橋 広典 氏

② 島根県インフラ DX 3次元データの活用等について

島根県土木部技術管理課課長補佐 園山 千尋 氏

島根県土木部技術管理課係長 田中 智朗 氏

③ 広島県における3次元データの活用について

広島県土木建築局建設 DX 担当 岡崎 太一 氏

④ UAV レーザー測定の活用

全測連中国地区協議会 株式会社サンワ 測量課 大谷 海 氏

⑤ 地理空間情報の利活用について（国縣市からの報告）

⑥ 意見交換

○ 今後の活動方針（案）について

（7）「中国地方建設現場の生産性向上研究会」（11月8日 Web会議）

研究会構成員；広大大学院教授、地整企画部長、測量部、県、市、建設業協会
地区協会長 外

内 容； ○中国地方生産性向上研究会 規則改正

○令和5年度中国地方のインフラDXの取り組み状況報告

○WG 開催報告

○意見交換

中国地方整備局インフラDX推進計画2024（素案）について

中国地方整備局DXの取り組みについて

・BIM/CIM サポートの必要性

・インフラDXへのニーズ、中国インフラDXセンターに期待
すること

○情報共有

3D点群データ活用ガイドライン（案）の紹介

（8）次世代の会 [不実施]

| 所属協会 | 氏 名 | |
|------|---------|-----------------------|
| 鳥 取 | 信 岡 宜 暁 | アイコンヤマト(株) 代表取締役 |
| | 田 栗 信 昭 | (株)ジーアイシー 代表取締役 |
| 島 根 | 小 村 淳 浩 | (株)大隆設計 代表取締役 |
| | 古 川 篤 | (株)古川コンサルタント 代表取締役社長 |
| 岡 山 | 秋 山 啓 嗣 | (株)秋山測量設計 代表取締役 |
| | 小 野 貴 史 | (株)アイエスコンサルタント 代表取締役 |
| 広 島 | 泉 田 義 博 | (株)イズタコンサルタント 代表取締役 |
| | 平 賀 勝 秀 | ウムヴェルト(株) 代表取締役 |
| 山 口 | 井 上 博 臣 | (株)テイケイエンジニアリング 代表取締役 |
| | 泉 洋 一 | (有)泉土木コンサルタント 代表取締役 |

V. 活力ある協会運営

1 総会

- (1) 第12回定時会員総会 令和5年4月27日 米子市
- 令和4年度貸借対照表及び損益計算書（正味財産増減計算書）の承認について
 - 令和4年度事業報告について
 - 令和5年度事業計画について
 - 同 収支予算について
- (2) 第1回報告会 令和5年11月30日 鳥取市
- 各専門委員会報告
 - 「県との意見交換会(8/8)」の結果について
 - 「郷土づくりシンポジウム(10/25)」の結果について

2 理事会

- (1) 第1回 4月11日
- 令和4年度事業報告及び事業報告の附属明細書の承認について
 - 令和4年度貸借対照表、損益計算書（正味財産増減計算書）及び損益計算書（正味財産増減計算書）の附属明細書の承認について
 - 第12回定時会員総会の開催について
 - 会費徴収規程の一部改正について
 - 入会承認基準及び入会手続きに関する内規の一部改正について
 - 会員に関する規程の一部改正について
- (2) 第2回 5月23日
- 各専門委員会の活動について
 - 現地研修について
 - 県との意見交換会について
 - 新型コロナウイルス感染防止対策について
- (3) 第3回 7月11日
- 各専門委員会の活動について
 - 郷土づくりシンポジウムについて
 - 県との意見交換会について
- (4) 第4回 7月20日
- 総合評価実施結果及び入札制度の改善に向けた課題に対する今後の進め方について
- (5) 第5回 8月29日
- 各専門委員会報告について
 - 郷土づくりシンポジウムについて

- 総合評価競争入札の見直しの方向性等県提案に対する意見について
- 令和5年台風7号豪雨災害について

(6) 第6回 11月2日

- 各専門委員会報告について
- 国交省県内事務所との意見交換会について
- 報告会について
- 第13回定時会員総会について
- 測量等業務における労働災害防止対策等について

(7) 第7回 1月16日

- 各専門委員会報告について
- 令和6年度事業について
- 測量等業務の入札制度等に係る県の見直し方針等に対する協会意見対応について
- 県との意見交換会における協会意見・要望への対応について
- BIM/CIM活用提案について
- 令和5年台風7号の教訓を活かした災害対応に係る意見・要望・提案について
- (中国地区)土木設計関係技術発表会の推薦方法の一部改正について

(8) 第8回 2月5日

- 「令和6年能登半島地震災害支援」について
- 「鳥取県BIM/CIM活用業務実施要領(仮称)」対象業務等に対する協会提案について
- 令和6年度事業について

(9) 第9回 3月7日

- 各専門委員会報告について
- 令和5年度収支予算の補正について
- 令和5年度事業執行状況、決算見込について
- 令和6年度事業計画(案)・予算(案)について

3 決算監査

令和5年度決算監査(4月5日)

4 専門委員会

(1) 総務委員会

1) 第1回 5月9日

- 令和5年度の活動について

2) 第2回 6月15日

- 令和5年度郷土づくりシンポジウムについて
- 建設コンサルタントの魅力発信について

- 協会の広報について
- 3) 第3回 8月22日
 - 令和5年度郷土づくりシンポジウムについて
 - 建設コンサルタントの魅力発信について
 - 協会の広報について
- 4) 現地研修
 - 日 時 6月8日(木)～9日(金)
 - 場 所 富山県「富山市コンパクトシティ・スマートシティ」
- 5) 親睦グラウンドゴルフ大会
 - 日 時 6月1日(木)
- 6) 令和5年度郷土づくりシンポジウム開催
 - 日 時 10月25日(水)
- 7) 協会パンフレット作成 12月25日
 - 広報(パンフレット作成)部会で検討し作成した。
 - 第1回部会 6月26日

(2) 経営委員会

- 1) 第1回 5月9日
 - 令和5年度の活動について
- 2) 第2回 6月28日 [書面]
 - 「監督補助業務に関する要望(案)」について
- 3) 第3回 8月18日
 - 「県総評入札見直しの方向性等提案(R5.7.20)」に対する協会員意見纏めについて
- 4) 監督補助等 アンケート調査 5月24日
- 5) 災害復旧実務研修会 6月21日
- 6) 若手技術者勉強会 7月6日
- 7) 総合評価入札検証結果説明会 7月20日
- 8) 技術士第一次・RCCM試験準備研修会 8月4日
- 9) 次世代を担う経営勉強会 [不実施]

(3) 技術委員会

- 1) 第1回 5月9日
 - 令和5年度の活動について
- 2) 令和5年度技術講演会 4月25日
- 3) 急傾斜技術指針改訂に係る意見・要望について県提出 7月19日
- 4) 建設技術研修検討委員会 10月17日

- 5) 3次元測量設計検討委員会
 - 第1回 7月25日
- 6) 橋梁補修調査設計検討会
 - 第1回 6月7日
 - 橋梁補修調査設計歩掛改正に関する県との意見交換会 8月3日
 - 第2回 9月20日
 - 橋梁補修調査設計歩掛改正に関する県との意見交換会 10月27日
- 7) BIM/CIM活用等勉強会
 - 第1回 11月24日
 - 第2回 1月23日
 - 第3回 2月20日
- 8) 砂防・治山技術指針に関する説明会 (WEB) 7月20日開催
- 9) 道路工事関係技術便覧に関する説明会 (WEB) 7月26日開催